

有料観光ガイド 本格始動

延岡観光協会

歴史、文化遺産、神話伝説を解説

西郷どん、城山コースなど

延岡観光協会（公益興二代表理事）の有料観光ガイド事業が本格的に始まった。延岡市内に数多く存在する歴史文化遺産、神話伝説にまつわる史跡の観光商品化には観光ガイド体制の充実が欠かせず、市民団体の「延岡ガイド・ボランティアの会」（元鬼勉会長）を母体に、行政、観光協会、同ボランティアの会が一体となって平成28年から有料ガイドを養成していた。これまでに9人（男性6、女性3）が誕生し、3月から順次初任事をこなしている。



西郷隆盛宿陣跡資料館の内部を案内する平尾さん（右）



西郷と愛加那の息子菊次郎の療養地の前で

現在は、NKK大河ドの「西郷どんコース」が市から明浜町港地歴史ラマの影響で北山町徳野 人気。2日は愛媛県西予一人クラブの17人が訪れ、岡市桜ヶ丘在住が案内

した。同コースは西郷隆盛資料館、三ツノミコト御陵墓参考地、西郷軍可愛岳突破の出発点、西郷菊次郎療養の地など。西郷は天皇家の先祖の墓に向けて攻撃できないことを見越してこの地に陣を構えたといわれる。菊次郎は、西郷が奄美大島に

延岡ガイド・ボランティアの会が養成知識とガイド技術を磨く

有料ガイドは、延岡観光協会が主催、延岡ガイド・ボランティアの会が講師となり、市の補助金で「延岡ガイドマン養成塾」を開いて養成してきた。

延岡ガイドは、延岡観光協会が主催、延岡ガイド・ボランティアの会が講師となり、市の補助金で「延岡ガイドマン養成塾」を開いて養成してきた。

くまわれていた時、愛加那との間に生まれた息子。平尾さんは、コノハナサクヤヒメが産する際、身の潔白を証明するため産屋に火を放ったことから、火生野（ひの）と呼ばれ、地名が徳野になったことや、生まれたホオリノミコトが祝子川（ほりりがわ）の名前の由来であること、菊次郎がこの地で足を切断しなければならぬ大けがを負い、療養していたことを説明した。

この日はあいにく雨天だったが、同コースの酒井真信会長（74）は「こういう場所があると知らなかった。1泊2日で鹿児島まで行くのは遠いのでちょうどいい研修旅行になった」と話すと好評。

平尾さんは、無料ガイドとしては「西郷どんコース」を1回、延岡城跡コースは今回も案内をした経験があり、「時間的な制約や分かりやすさに気を遣った。楽しかった」と言ってもらえて良かったと笑顔を見せた。

たいと話した。

有料ガイドのメニューは「西郷どん」と「延岡城跡」の二種。延岡城跡コースでは北大手門、千殺しの石垣、城山の鐘、最後の延岡藩士内藤政拳公の銅像、ヤブツハキの群生を中心に案内する。

ガイド時間はともに約90分、料金は4000円。ガイド1人で20人まで案内する。申込先は協会（延岡29・2105）。